

ヒヤリハット事例

02

剪定作業





次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	植木剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	2人
どんなことが 起こったのですか	濡れた三脚から足を滑らせて、落下しそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	小雨の降っている少し傾斜のある場所
どのようなこと をしていて	垣根を剪定していた
どうなった のですか	転倒は避けられたがヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 小雨が降っているのに、大したことはないと思信し作業を行った。
- 傾斜地であるのに三脚を木などに固定していなかった。
- 保護帽をかぶっていなかった。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 小雨でも、三脚を使用するのは滑るので、危険であること。
- 傾斜地の作業では三脚を固定しないと危険であること。
- 転落した場合、頭部を保護しないと、死亡などのリスクが高くなるので、必ず保護帽をかぶって作業すること。
- 雨が降ったら転落事故が多くなるので、三脚での作業は行わないこと。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	植木剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	2人
どんなことが 起こったのですか	切った枝が落下してきて、自分にぶつかりそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	個人宅の庭
どのようなこと をしていて	高枝を切断していて
どうなった のですか	直接当たらなかったが、ヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 注意力が散漫であった。
- 狭い場所でスムーズに移動できなかった。
- 真上の枝を切断した。
- 保護帽をかぶっていなかった。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 真上の枝切は、三脚を使用して自分に落ちてこないよう工夫すること。
- 高枝の剪定作業では保護帽を必ず装着すること。
- 切った枝がどこに落ちてくるかなど、予測して作業すること。
- 枝が太い場合は、ロープで縛り直接下に落ちないように、対策をとること。
- 怪我をしないよう十分注意して作業を行うこと。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	植木剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	2人
どんなことが 起こったのですか	暑い日に植木の剪定作業をしていたら、めまいや、立ち眩みがした。
どんな場所で (周囲の状況)	個人宅の庭
どのようなこと をしていて	三脚に乗って植木の剪定作業中
どうなった のですか	熱中症にかかったのではないかと考え、休憩を取り、水分と塩分の補給を行い、お客様に説明しその日の作業を中止した。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 暑い日が続き、寝不足気味だった。
- 寝不足で体が少し、重く感じていた。
- 自分は大丈夫と過信し、作業を開始した。
- そんなに暑さを感じていないから、熱中症にはならないと思っていた。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 暑い日が続く場合、睡眠中は冷房を掛けたまま睡眠を取ること。
- 高齢になると、暑さを感じにくくなるので、熱中症には注意すること。
- 体調が良くない場合は、作業を中止すること。
- 暑い日は、休憩を多く取り、のどが渴いていなくとも、水分や塩分の補給を行うこと。
- 加齢により体力が落ちていくことを認識し、自分は大丈夫と過信しないこと。
- 体調が悪いような場合は、三脚での作業は控えること。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	植木剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	3人
どんなことが 起こったのですか	脚立で作業して降りる時、踏み残を踏み外し、 転倒しそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	個人宅の庭
どのようなこと をしていて	低木を剪定中
どうなった のですか	転倒しなかったがヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 弱い雨が降っていた。
- 脚立を跨いで剪定していた。
- 下りる時、片足に重心がかかり、バランスを崩した。
- バランスを崩したので、飛び降りようとした。
- 踏み残を踏み外してしまった。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 脚立を跨いで乗ることは禁止されていること。
- 雨の日は、脚立が滑りやすいこと。
- 柔らかい土壌では、脚立の足が沈むことがあること。
- 脚立の天板に立つとバランスを崩すので禁止されていること。
- 低い脚立だからと、安心しないこと。
- 必ず保護帽をかぶって作業すること。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	植木剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	2人
どんなことが 起こったのですか	スズメバチの巣があった。
どんな場所で (周囲の状況)	個人宅の裏庭
どのようなこと をしていて	剪定作業をしようとして、見回り中
どうなった のですか	大きかったのでびっくりした。発注者にスズメバチの巣の駆除をお願いした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 裏庭だったので、気付くのが遅れ、巣が大きくなった。
- 山に続いているので、ハチが巣を作りやすかった。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 剪定作業前や除草作業前には必ず、作業現場を下見し、スズメバチの巣やその他危険場所の把握しておくこと。
- スズメバチに襲われたら、体を低くして急いでその場を離れること。
- もし刺されたなら、流水で患部をよく洗い流し、傷口から毒を吸い出す。(口で吸ったら必ず毒を吐き出す)抗ヒスタミン軟膏を塗り冷やすこと。
- 20分以内に異常が無ければ安心だが、次の症状が出たら一刻も早く医師の診断を受けること。
・息苦しさ・口の乾き・冷や汗・眩暈・血圧低下・しびれ・嘔吐・じんましんなどのショック症状



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	3人
どんなことが 起こったのですか	手を伸ばし遠くの枝を切ろうとして、バランスを崩し三脚から落下しそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	個人宅の庭
どのようなこと をしていて	三脚を使い高所の剪定を行っていた時
どうなった のですか	三脚を木に固定していたので、三脚につかまり、落下は避けられたがヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 三脚の上で、遠くの枝を切ろうとした。
- 三脚から木の方に体重を移動してしまった。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 三脚の上では、手の届く範囲だけを剪定すること。
- 遠くの枝を剪定する場合は、三脚を移動して作業すること。
- 三脚は必ず、木などにロープを使って固定すること。
- 三脚や脚立の天板に乗ることや、跨いで作業を行うことは、バランスを崩しやすく落下の危険が大きいため絶対にやめること。
- 剪定を行う場合は、落下などによる頭部の損傷を避けるため、必ず保護帽をかぶること。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	三脚が揺れて、転落しそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	個人宅の庭
どのようなこと をしていて	三脚に登ろうとしたとき
どうなった のですか	三脚が揺れて、ヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 三脚を固定していなかった。
- 風が強かった。
- 土台が緩かった。
- バランスを崩した。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 三脚に登る際は、植木や塀などに、ロープを使い動かないよう固定すること。
- 風が強い日に、三脚で作業すると、転落の恐れが高くなること。
- 三脚の土台が緩いと、バランスを崩し転落する恐れが高くなること。
- 必ず保護帽をかぶって作業すること。
- 風や雨などの条件で、三脚に登って作業することが危険と判断した場合は、お客様の了承を取り、作業日を変更すること。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	鋏で指を切りそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	個人宅の庭
どのようなこと をしていて	植木を剪定していて
どうなった のですか	剪定鋏で指を切りそうになりヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- よそ見をしていた。
- お客様と話をしながら剪定していた。
- 枝が切りにくかったので手を添えていた。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 剪定する場合は、よそ見や話などせずに、集中して作業をすること。
- 枝を切断する際は、切断場所から目をそらさないこと。
- お客様と話す際は、「ながら」仕事をせずに、手を止めて話すこと。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	垣根の剪定中、チャドクガの幼虫に刺されそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	個人宅の庭
どのようなこと をしています	サザンカの垣根を剪定していて
どうなった のですか	葉の裏にチャドクガがびっしり張り付いていたのでハッとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 下見した際に気付かなかった。
- 作業前にも点検しなかった。
- お客様も気付いていなかった。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- サザンカやツバキなどには、暖かくなるとチャドクガが発生するので注意して剪定すること。
- チャドクガを処理する際は、葉っぱや枝ごとビニール袋に入れて焼却処分するか、土に埋めること。
- チャドクガは死んでも針に毒が残って浮遊するため、風の強い日は処理を避けること。
- チャドクガは卵塊で越冬するため、お客様に冬は確認してもらうこと。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	2人
どんなことが 起こったのですか	三脚から手が届かない所の剪定を行うため、木に移って作業を行ったが、戻るとき三脚がぐらつき、落下しそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	個人宅の庭
どのようなこと をしていた	植木を剪定していて
どうなった のですか	木の幹に安全帯を付けていたので、落下を避けられたが、ヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因 危なかった原因	● 楓の枝が密集していて、三脚から手が届かなかった。 ● そんなに高くない場所だったので、危険とは思わなかった。 ● 植木の裏側に三脚を立てる場所がなかった。
教訓 みんなの 教訓にして もらいたいこと	● 三脚から木に移ることは、危険なため行わないこと。 ● どうしても木に登らなければならない場合は、三脚などは使用せず、直接木の下から登ること。 ● 木に登る際は、必ず墜落防止用器具(安全帯)を太い幹に付けて、落下しないよう安全を図ること。 ● 必ず保護帽をかぶって作業すること。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	2人
どんなことが 起こったのですか	切った枝がバウンドしてお客様の窓ガラスに当たった。
どんな場所で (周囲の状況)	個人宅の庭
どのようなこと をしていて	植木を剪定していて
どうなった のですか	強く当たらなかったのですが、窓ガラスは割れなかったが、ヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

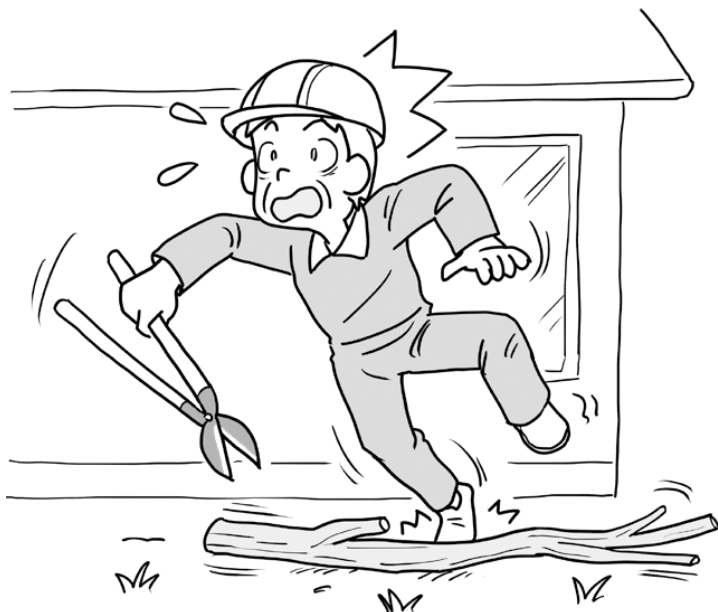
危なかった原因

- 就業場所が狭かった。
- 枝をロープで結んでいなかった。
- 近くに窓ガラスがあった。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 大丈夫だろうで作業をせず、リスクを減らすよう行動すること。
- 枝を切断する際は、切断場所から目をそらさないこと。
- 太い枝を切断する場合は、落下して危険が無いよう、上部の枝にロープを架け、切り落とす枝にロープを結び切断すること。
- 必ず保護帽をかぶって作業すること。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	切った枝に躓いて転倒しそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	個人宅の庭
どのようなこと をしています	植木を剪定していて
どうなった のですか	転倒しなかったものの、ヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 狭かった。
- 切った枝を片付けず、放置していた。
- よそ見をしていた。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 切った枝は、隅に集めておくこと。
- 狭い場所を歩く場合は、足元に注意すること。
- 狭い場所では、段取り良く、作業や片付けを行うこと。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていたか	1人
どんなことが 起こったのですか	トリマーを置いて休憩中、お客様がトリマーを見せると、触ったら急に動き出した。
どんな場所で (周囲の状況)	お客様の庭
どのようなこと をしています	植木を剪定していて
どうなった のですか	手を離したので怪我はしなかったがヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- コードをつないだままトリマーを置いていた。
- お客様に直に触らせてしまった。
- コードを外してあると思っていた。
- お客様が触れるところに置いていた。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 機械類は使用时以外、必ずコードを外しておくこと。
- お客様が見たいと言っても、直に触らせないこと。
- 休憩に入るときなど、必ず機器類の安全確認を行うこと。



次のページを見る前に下記のことをご自身で検討してください。

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	お客様の庭で、脚立を運んでいる途中、盆栽に 脚立を引っかけた。
どんな場所で (周囲の状況)	個人宅の庭
どのようなこと をしていて	植木の剪定のため脚立を持って移動していた
どうなった のですか	お客様の盆栽が段からズレ落ちそうになった ので、ヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

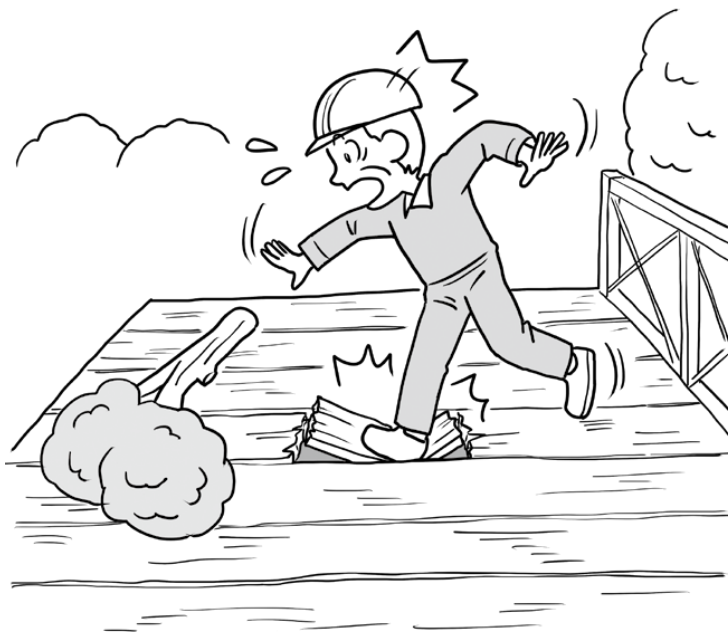
危なかった原因

- 庭が狭かった。
- 盆栽が棚に多く並んでいた。
- 脚立をかついでいた時、声を掛けられ振り返ってしまった。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 狭い庭では周りに注意して、脚立などを移動させること。
- 狭く置いてあるものが多い場所では、脚立を持ったまま振り返るのは、危険であること。
- 脚立などの大きな物を運ぶときは、周りに対し細心の注意を払い運ぶこと。



**次のページを見る前に下記のことを
ご自身で検討してください。**

- 1** 上の絵は、就業中に実際に事故があった又はヒヤッとした体験の一場面をイラストにしたものです。この状況を想像し、考えられる危険要因を挙げてみて下さい。
- 2** あなたなら、どのようにしてこのヒヤリハットがないようにしますか。

前ページの絵のヒヤリハットした状況

何の仕事をして いた時のことですか	剪定作業中
そのとき何人で 仕事をしていましたか	1人
どんなことが 起こったのですか	お客様のウッドデッキが腐っていて、踏抜きそうになった。
どんな場所で (周囲の状況)	お客様の庭
どのようなこと をしていて	ウッドデッキに落ちている切った枝を拾おうとして
どうなった のですか	ウッドデッキを踏抜かなかったもののヒヤリとした。

ヒヤリハットした原因と今後の教訓

原因

危なかった原因

- 庭が狭かった。
- 切った枝をウッドデッキの上に落としてしまった。
- ウッドデッキが腐っていた。

教訓

みんなの
教訓にして
もらいたいこと

- 下見を行い、危険を把握しておくこと。
- 腐っているウッドデッキには乗らないこと。
- ウッドデッキがミシミシと音を立てるようであれば、乗らずに外から落ちた枝を回収すること。
- 奥に落ちた枝などは、お客様に処理していただくこと。
- お客様と相談し、対応策を検討すること。